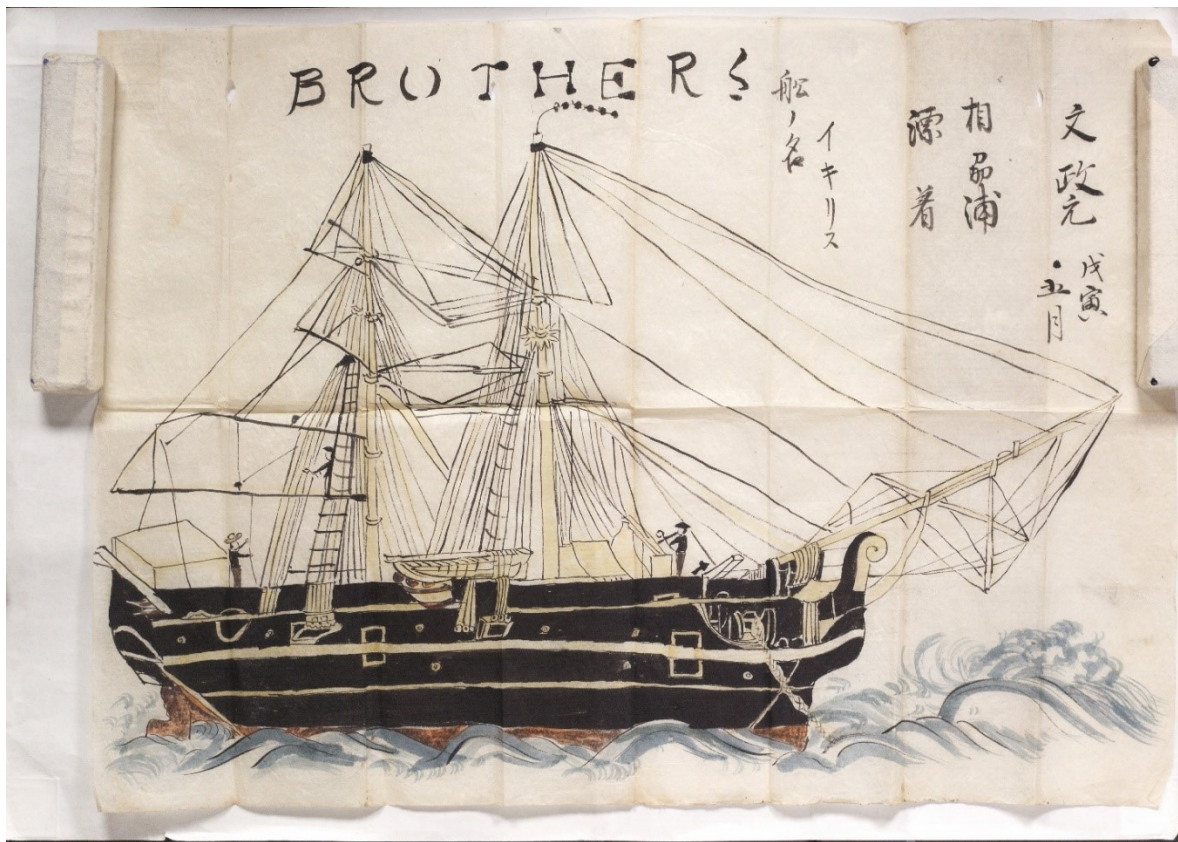


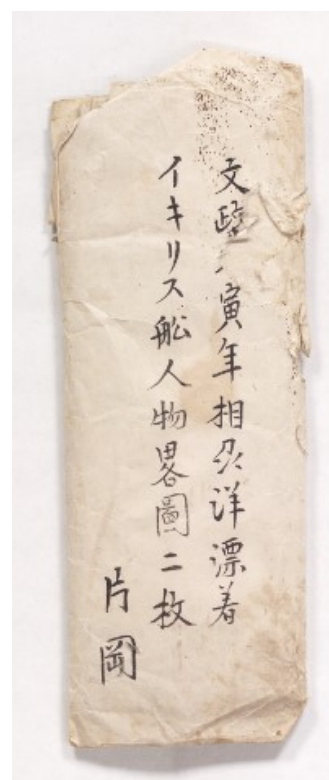
群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 31

請求番号	P1706	文書番号	816-1 816-2	年代	文政元年 (1818)
史料名	<ul style="list-style-type: none"> ・[絵図] 文政元戊寅五月相州浦漂着イギリス船ノ名 BROTHERS (816-1) ・[絵図] (人物3人) (816-2) ・[封筒] (文政■ (元) 寅年相州洋漂着イギリス船人物略図二枚) 				
形態	No.816-1 縦 28.0cm×横 36.5cm No.816-2 縦 27.5cm×横 36.0cm	複製	なし		
備考	No.816-1は新規公開文書展2021で出展 (インターネット展示)				
史料概要	<p>【816-1】 文政元(1818)年に相模国の海岸(現・神奈川県)へ現れたイギリス船を描いている。 本絵図では、船の絵の上に「BROTHERS」(ブラザーズ号)と船名が英語で書き込まれている。「漂着」と記されているが、実際にはイギリス海軍将校のゴールドンが幕府との通商を求めて訪れたと思われる。</p> <p>【816-2】 816-1のイギリス船の乗組員を描いたと推定される絵図 「丈七尺四五寸位より六尺六七寸位迄之由」 「人数九人乗之由」との記述がある</p> <p>時代背景としては、この頃ロシアのラクスマン来航(1792年)やイギリス船のフェートン号事件(1808年)など日本近海では外国船来航が相次いでいた。1815年にはワーテルローでのナポレオンの敗戦によりフランスの影響力低下が決定的となり、この後イギリスが覇権国家としての地位を築くことになる。 なお、この7年後の1825年に異国船打払令が出ている。</p>				
指導要領との関連	<p><中歴> C-(1)-ア-(ア) 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き <高探究> D-(1)-イ-(ア) 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化 <歴総合> B-(2)-イ-(イ) 中国の開国と日本の開国の背景とその影響</p>				
活 用 例					
活用単元	結びつく世界と日本の開国				
活用場面	・19世紀の東アジアがこの地域に進出した欧米諸国とどのように関わり、どのように変化していったのかについて理解させる場面。				
活用方法	・この史料を生徒に見せた後、「イギリスはなぜ遠い日本へ通商を求めてやってきたのだろうか。」との問いを設定して、イギリスをはじめとした欧米諸国のアジア進出のねらいや背景を教科書や資料集により読み取らせる。				
予想される生徒児童の反応など	・大きく描かれた黒船と「BROTHERS」のように比較的読み取りやすい文字が並んでおり、とりくみやすいと思われる。教科書や資料集に掲載されたペリー来航の黒船以外にも多様な外国船が来航したことをイメージできると考えられる。				

文政元戊寅五月相州浦漂着イギリス船ノ名 BROTHERS(P1706 816-1) 文政元年



(人物3人) (P1706 816-2) 文政元年



封筒 (文政■ (元) 寅年相州洋漂着イギリス船人物略図二枚)
(P1706 816) ※2枚の絵図が同封